

令和7年度全国高等学校総合体育大会に係る映像制作研修等業務
公募型プロポーザル選定委員会（第2回）議事要旨

項 目	内 容	
1	日 時	令和5年10月28日 9時から11時30分まで
2	場 所	広島三栄ビル 6階 第1会議室
3	出席委員	令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県実行委員会事務局長 令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県実行委員会事務局次長 令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県実行委員会事務局次長 広島県高等学校体育連盟理事長 令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県高校生活動推進委員会総務委員* 令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県高校生活動推進委員会総務委員 令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県高校生活動推進委員会総務委員 ※代理出席
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県実行委員会事務局
6	開催方法	参集
7	議事内容	1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も高い評価値を得た者を最優秀提案者として決定した。 2 審査結果 (1) 審査対象者 A社：株式会社中国放送 B社：株式会社T S Sプロダクション (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり (3) 最優秀提案者 株式会社中国放送（A社） 3 各委員の主な評価・選定理由 (1) A社 ・ 映像制作研修（理論編）において、様々な分野の講師を予定するなど、高校生が多面的な視点で話を聞くことができる計画となっている。 ・ 映像制作研修（技術編）において、中高生ニュースの制作という今年度の具体的な目標があるとともに、それを広報で活用するなど、全体の計画につながりがある。

- ・ 有名人を用いるなど、総じて華やかでワクワク感のある提案である。
- ・ 体験型の知識・技術の習得の仕掛けは評価できる。
- ・ 研修については、理論編も技術編も制作する高校生がやりがいと責任を感じられる提案である。
- ・ 高校生が体験してみたいと思う工夫があると同時に、一緒にやっていきたいという熱意を感じる提案である。
- ・ 分野別の講師を予定するなど、よく考えられている一方で、令和6年度に式典前映像や広報動画を制作するということを踏まえると、令和6年度の計画の具体性にやや欠ける部分もある。
- ・ 高校生にどのような体験をしてほしいかは理解できたが、どのような効果があるのかは若干具体性に欠ける。
- ・ 研修については、令和6年度に向けて、令和5年度に中高生ニュースを制作するという区切り及び大きな目標があるのは良いが、令和5年度は中高生ニュースを制作することだけが目標であるようにも感じられる。

(2) B社

- ・ 「リアルに感じている価値観」を大切にしようという思いやコアターゲットが活用しているSNSのプラットフォームを利用しようという考えは評価できる。
- ・ 協賛スポンサーを募り、高校生が制作した広報動画をテレビ放送しようという試みは評価できる。
- ・ 考え方が理論的に計画されており、高校生にどのような効果があるのか分かりやすい提案である。
- ・ 企画力を養うことで、高校生のできることの幅が広がるとともに、考える幅が広がりそうな提案である。
- ・ 多様な切り口の提案があり、こだわりのある生徒に向いている。
- ・ 高校生にアイデア出しや成功体験をさせるような仕組みができており、令和6年度を見据えた令和5年度の研修となっている。
- ・ インターハイの概要や実行委員会の実施体制をよく意識した堅実な提案である一方で、高校生のワクワク感に欠けるのではないかと思われる部分もある。
- ・ 研修の実施回数が2回ずつであり、必要な知識・技術が本当に身につくか疑問である。
- ・ 高校生のモチベーションを高めるという意味では、研修の具体的な工夫が少し物足りない。